

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果
(24151：サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	5件
改善・見直しをした上で推進すべき	4件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	9件

【主なご意見】

高校生の数学、理科離れを食い止めるとともに、これからの日本の科学研究の基盤となる人材の育成には、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトはぜひとも必要である。特に受験勉強では味わえない生きた学問を学ぶことにより、考える力を身に付けた人材の育成に役立つことは明らかであり、この事業を推進することは重要である。

初期よりは最近では、先端研究にテーマが偏っていると感じる。先端性はSSHに限定し、SPPは底上げの機能分担をすべきである。先端性を重視しすぎると、特定の教員、学校に次第に限定される。十分な底辺構造を作らないと、先端は伸びないと考える。日本人の科学リテラシーの向上が重要である。そのため、理系クラスだけでなく、文系クラスも巻き込めるようにする。また、大学進学率の向上をリンクさせてもよい。